



マリンバイオ同好会 活動報告No. 10

～2011年4月～

☆ 海洋栈橋魚類相調査

水温の上昇とともにワカメなどの海藻類が枯れ、ナマコもあまり見られなくなりましたが、かわりにさまざまな魚を観察できるようになってきました。今はキビナゴの群れをよく見かけます。また、今年はメバルの稚魚が多くいます。採集した流れ藻には、ベニツケギンポの稚魚が数尾付いていました。



[流れ藻採集]



[ベニツケギンポ]



[4月30日 海洋栈橋釣り調査 9:30～11:00]

カサゴが多数釣れました。この他キュウセン、スズメダイなども釣れ、これらは展示水槽に収容しました。また、釣り調査で初めて「イソカサゴ」が釣れました。

≪ 海洋栈橋魚類相調査(釣り) 4月30日調査結果 ≫

天候:曇 海況:凪 風向:SW 気温:16.0℃ 水温:14.0℃ フォーレル:5

魚種	尾数	魚種	尾数
カサゴ	37	イソカサゴ	1
ホシササノハベラ	4	キュウセン	1
ホンベラ	1	キジハタ	1
スズメダイ	1		



[イソカサゴ]